【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公開番号】特開2002-180493(P2002-180493A)
【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)
【出願番号】特願2000-378032(P2000-378032)
【国際特許分類第７版】
　Ｅ０２Ｆ　3/38
【ＦＩ】
　Ｅ０２Ｆ　3/38　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月19日(2003.9.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
油圧ショベルの車体に設けられブームシリンダにより俯仰動されるブームと、該ブームの先端側に設けられアームシリンダにより回動されるアームと、該アームの先端側に設けられバケットシリンダにより回動されるバケットとからなり、前記アームは上板、下板および左，右の側板によって箱型状に形成し、該アームの先端側には前記上板と下板とを貫通する開口部を挟んで前記バケットのブラケットが連結ピンを用いて連結される左，右のバケット取付部を設けてなる油圧ショベルの作業装置において、
前記アームの下板には、前記左，右のバケット取付部間の開口部を覆う位置に取付けられ該開口部を前記バケットにより掘削される掘削物から遮蔽する遮蔽部材を設け、
前記遮蔽部材は、前記アームの下板に固定して設けられ前記バケットから離れた位置で前記開口部を覆う固定プレートと、可撓性材料により形成され該固定プレートから前記バケットに向けて前記開口部を覆うように延設されると共に前記バケットのブラケット側に当接する可撓性プレートとにより構成したことを特徴とする油圧ショベルの作業装置。
【請求項２】
前記遮蔽部材の可撓性プレートは連結部材を用いて前記固定プレートに交換可能に連結する構成としてなる請求項１に記載の油圧ショベルの作業装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
そして、請求項１の発明が採用する構成の特徴は、アームの下板には、左，右のバケット取付部間の開口部を覆う位置に取付けられ該開口部を前記バケットにより掘削される掘削物から遮蔽する遮蔽部材を設け、遮蔽部材は、前記アームの下板に固定して設けられ前記バケットから離れた位置で前記開口部を覆う固定プレートと、可撓性材料により形成され該固定プレートから前記バケットに向けて前記開口部を覆うように延設されると共に前記バケットのブラケット側に当接する可撓性プレートとにより構成したことにある。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
また、請求項１の発明によると、遮蔽部材は、前記アームの下板に固定して設けられ前記バケットから離れた位置で前記開口部を覆う固定プレートと、可撓性材料により形成され該固定プレートから前記バケットに向けて前記開口部を覆うように延設されると共に前記バケットのブラケット側に当接する可撓性プレートとにより構成したから、遮蔽部材の固定プレートは、アームの開口部のうちバケットから離れた部位を覆うことができ、可撓性プレートは固定プレートよりもバケットに近い位置で開口部を覆うことができる。そして、バケットがアームの下板側に向けて回動し、そのブラケット側が可撓性プレートに当接したときには、可撓性プレートがブラケットに押動されて撓み変形できるから、遮蔽部材はバケットの回動動作を妨げることなく、開口部のほぼ全体を土砂等の掘削物から常に遮蔽することができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
また、請求項２の発明によると、遮蔽部材の可撓性プレートは連結部材を用いて前記固定プレートに交換可能に連結する構成としている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
また、請求項１の発明によれば、遮蔽部材を固定プレートと可撓性プレートとによって構成したので、固定プレートはアームの開口部のうちバケットから離れた部位を安定的に覆うことができる。そして、バケットがアームの下板側に向けて回動するときには、可撓性プレートがアームの開口部を覆いつつ、バケットのブラケット側と当接することによって撓み変形できるから、遮蔽部材はバケットの回動動作を妨げることなく、開口部のほぼ全体を土砂等の掘削物から常に遮蔽することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
また、請求項２の発明によれば、遮蔽部材の可撓性プレートは連結部材を用いて前記固定プレートに交換可能に連結する構成としたので、例えば連結部材を着脱するだけで可撓性プレートを新品と交換でき、固定プレートをアーム側から取外すことなく、交換作業を容易に行うことができる。